

当院口腔顎顔面外科・矯正歯科を受診されたことのある方へ

当科では取得した患者様の貴重な個人情報を含む記録を、医療機関としてだけでなく教育研究機関として所定の目的に利用させていただきたいと思っておりますので、患者様のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

【研究課題】

三次元 CT 画像を術野に投影した拡張現実感表示による口腔外科手術支援システムの開発 2553-(4)

【研究機関名及び本学の研究責任者氏名】

この研究が行われる研究機関と研究責任者は次に示すとおりです。

研究機関 東京大学医学部附属病院 口腔顎顔面外科・矯正歯科

研究責任者 末永英之 東京大学医学部附属病院 口腔顎顔面外科・矯正歯科 講師

担当業務 データ収集・匿名化・データ解析

【研究期間】

2015 年 11 月 20 日～2025 年 11 月 19 日

【対象となる方】

2015 年 11 月 20 日～2025 年 11 月 19 日の間に当院口腔顎顔面外科・矯正歯科を受診され、X 線コンピュータ断層撮影装置 (CT)、磁気共鳴画像装置 (MRI) 等の画像検査および手術を受けた患者さん。

【研究の意義】

口腔顎顔面外科領域は解剖学的に複雑であり、立体的な位置関係を正確に把握することが重要となります。本研究では、我々が開発した拡張現実 (現実環境にコンピュータを用いて情報を付加提示する技術) とコンピュータビジョン (コンピュータによる視覚機能) により、CT・MRI 等の画像情報 (コンピュータ空間) と患者さんの位置 (現実空間) の空間的対応関係を求める技術を用います。これにより、立体的な位置関係を正確に把握して、直接見ることのできない部位を可視化した手術が可能となります。

【研究の目的】

CT・MRI 等の画像情報や術前計画された手術シミュレーション画像情報を本技術により患者さんの位置に重ね合わせて表示することにより、高度な位置制御が可能な安全性の高い手術の実現に役立てます。

【研究の方法】

この研究は、東京大学医学部倫理委員会の承認を受け、東京大学医学部附属病院長の許可を受けて実施するものです。これまでの診療で記録されている CT・MRI 等の画像情報、手術画像情報を収集して行う研究です。特に患者さんに新たにご負担いただくこと

はありません。

【個人情報の保護】

この研究に関わって収集される CT・MRI 等の画像情報、手術画像情報は、外部に漏えいすることのないよう、慎重に取り扱う必要があります。あなたの CT・MRI 等の画像情報、手術画像情報等は当研究室において、まず暗号化機能付き USB に保管し、解析する前にあなたの個人情報とは一切連結できないように処理します（この処理を行うパソコンはインターネット接続を行いません。また、データ等が保存された USB は鍵のかかるロッカーで厳重に保管し、処理後は速やかに処理前のデータ等を消去します）。こうした処理を行った後のデータ等については、処理の性質上、その後同意を取り消すこと及び個人の結果をあなたにお伝えすることはできません。

手術前に「教育・学術研究へのご協力をお願い」を用いた同意文書を作成しておりますが、この研究のためにご自分のデータを使用してほしくない場合は主治医にお伝えいただくか、下記の研究事務局までご連絡ください。研究にご参加いただけない場合にも、あなたの不利益につながることはありません。ご連絡をいただかなかった場合、ご了承いただいたものとさせていただきます。

研究結果は、個人が特定出来ない形式により学会等で発表されます。収集したデータは厳重な管理のもと、研究終了後 5 年間保存されます。なお研究データを統計データとしてまとめたものについてはお問い合わせがあれば開示いたしますので下記までご連絡ください。ご不明な点がありましたら主治医または研究事務局へお尋ねください。

この研究に関する費用は、東京大学医学部附属病院 口腔顎顔面外科・矯正歯科の研究費から支出されています。本研究に関して、開示すべき利益相反関係はありません。尚、あなたへの謝金はございません。

2019 年 10 月 18 日

【問い合わせ先】

東京大学医学部附属病院 口腔顎顔面外科・矯正歯科 講師 末永英之
住所：東京都文京区本郷 7-3-1
電話：03-3815-5411（内線 33714） FAX：03-5800-6832
Eメールでのお問い合わせ：suenagah-ora@h.u-tokyo.ac.jp